

教育学部 教員養成課程

教育学部 美術教育コース

		到達目標	ディプロマポリシー			
			感じる力	考える力	コミュニケーション力	生きる力
教科教育科目		美術科の目標、内容、授業づくり、評価のあり方と到達点と課題を総合的に理解し、その発展的内容について教材研究を行う事ができる。	◎	◎	◎	◎8
総合科目・基礎科目		美術教育では該当科目無し				
教科専門科目	絵画	知識 ・画材の特性を解釈し効果的な使い方を工夫できる。 ・作品鑑賞を通し、特徴を推論することができる。 態度 ・制作現場に於いて、協調し制作の進行ができる。 ・コミュニケーションから得た事を作品に反映することができる。 ・制作意図を明確に解説することができる。 技能 ・絵画の基礎となる素描演習からデッサン力を習得できる。 ・構図に於いて、画面内のバランスを考慮した構成ができる。 ・配色について、テーマに合った色彩の表現ができる。	◎	○	○	○
	彫刻	・自然物を観察しながら彫刻的な造形要素を学び、それを作品制作に応用することができる。	◎	◎	◎	◎

		・作品発表を行うことにより、客観的な観点から制作を振り返り、他の人とコミュニケーションすることができる。 ・彫刻表現における素材と表現の密接な関係性について調べ、それを生かした作品を創造することができる。				
	工芸	・工芸の基礎知識と基本技法を習得し、工芸の特質を説明することができる。 ・工芸の基礎的普遍的知識とより高度な基礎技法を修得し、児童及び生徒の発育段階に即した学習環境を配慮することができる。 ・陶磁工芸の基本演習等から基礎技法を体得し、焼成することで「やきもの」を創造することができる。	◎	◎	◎	◎
	デザイン	・基礎的なデザインに関する知識と感性を養い、目的に応じた素材と造形の関係性に基づいたデザインができる。 ・造形の基本要素である「構成」を研究し、イメージを实在表現化することができる ・デザイン表現に於ける基礎的な映像とコンピューターグラフィックスによるデザインができる ・デザインに於ける意匠権(知的財産)の意識を持った制作ができる	◎	◎	◎	◎
	美術理論・美術史	・美術理論及び美術史では、学生が、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わり、資質・能力を伸ばすことができる。 ・美術理論及び美術史の基礎的な概念や研究方法を身につけることができる。 ・具体的な作品提示によって多くの知識を得ることができる。 ・作品相互の関係性を明らかにすることで、文化の多様性、広汎性を学ぶことができる。 プレゼンテーションソフト等の使用により可視化された授業を行うとともに、美術館見学等を行うことで作品体験の機会を増やし、美術の実作品に触れることができる。	◎	◎	◎	◎

教育学部ディプロマポリシー（DP）

三重大学教育学部は、学校現場における諸課題に対応できる実践的指導力を身につけた地域に貢献しうる教育人材を育成します。

教育学部は、次のような資質・能力を備えた人に対して、厳格な評価基準に基づいて学位を授与します。

・「感じる力」

教員に求められる使命や責任を理解し、幼児や児童生徒の心身の成長を支えることができる。

・「考える力」

教育に関する専門的な知識や技能に基づいて学級等を経営するとともに、授業等を計画・実践し、さらなる改善策を考え示すことができる。また、教育をめぐる諸課題を把握し、解決策を考え示すことができる。

・「コミュニケーション力」

子どもの多様性を認め、一人ひとりに配慮した教育を行うことができる。また、同僚、保護者、地域の人々と協働しながら諸課題の解決に取り組むことができる。

・「生きる力」

社会人としての教養や公正な態度、柔軟な思考を身につけ、地域社会の動向を踏まえながら、責任ある行動をとることができる。また、自己研鑽の必要性を理解し、主体的・自律的に学び続ける意欲や態度を有している。